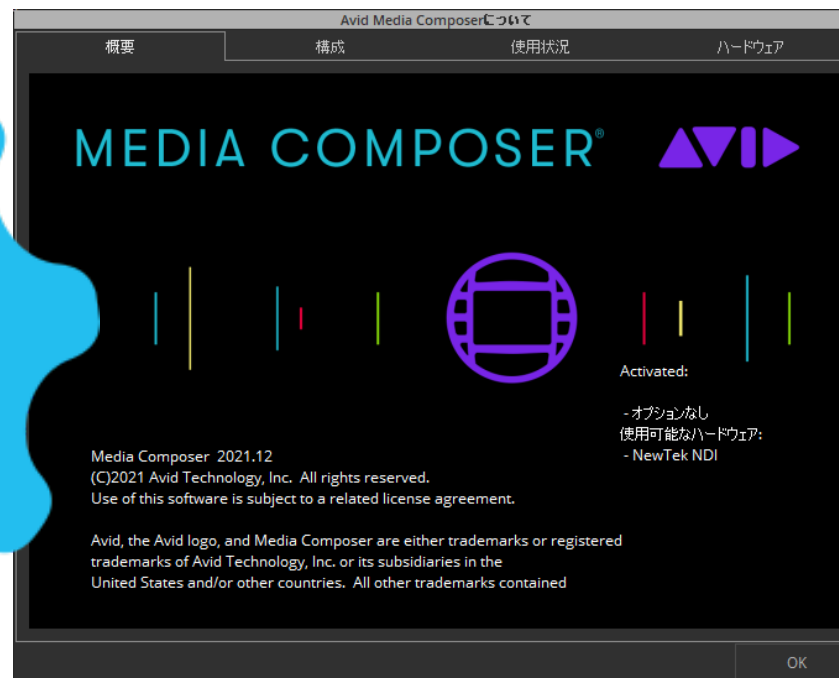


# cineXplugin Avid(ver 2021.12対応) クイック・スタートガイド

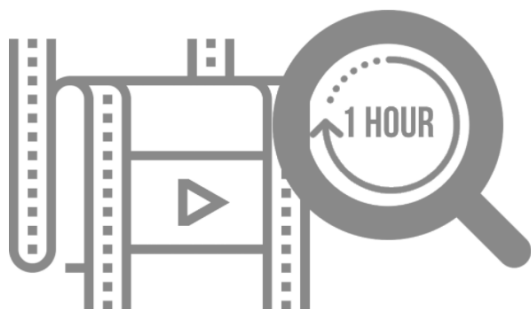


株式会社エディピット

## 従来のリメイク作業



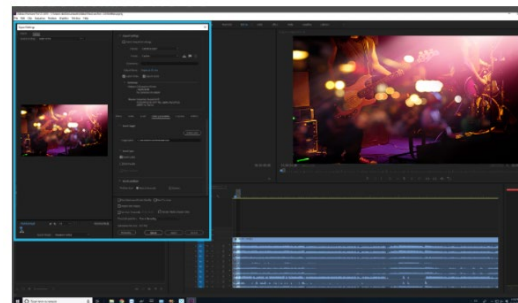
リメイク箇所が5秒であっても、ファイル全体を再度エクスポートする必要があります



不良ピクセル又はエクスポートエラーが無い  
かファイル全体を再度確認QCを行う必要があります



## cineXPlugins



cineXpluginsを使用して、必要な変更だけを挿入します



変更したファイルの部分のみの確認でOK!



時間を節約  
生産性の向上

1. cineXpluin 【Avid Media Composer】 の場合、**挿入するターゲット(\*)**のカラースペース、フレームレート、タイムコードにマッチする「ダミー」プロジェクトを作成します。

(\*)完パケのフラットファイル

cineXplugins を使用する場合は、元のプロジェクトと関連するビンは必要ありません。

2. **動画を挿入する場合は、2 つ目の動画レイヤー【ビデオトラック】を作成します。** このレイヤーが挿入元になります。

cineXtools と同様に、挿入するソースは、カラースペース、フレームレート、タイムコードがターゲットと一致していれば何でも構いません（DPXシーケンス、DNxHD/HR、 OpAtom など）。



Matching Framerate

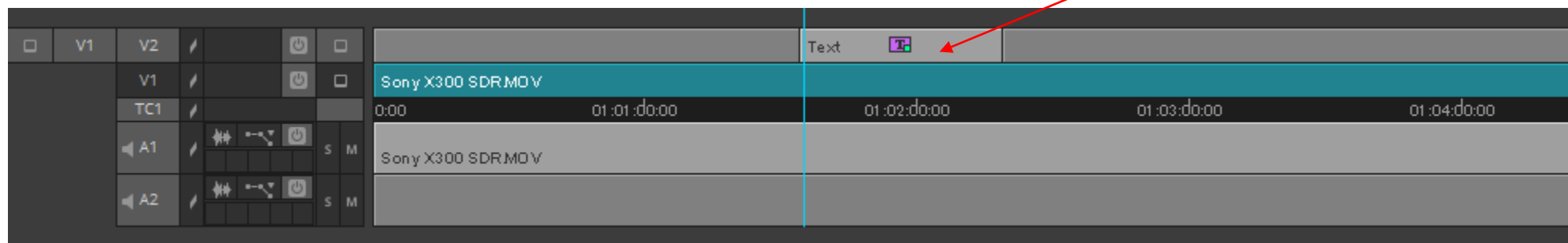


Matching Timecode

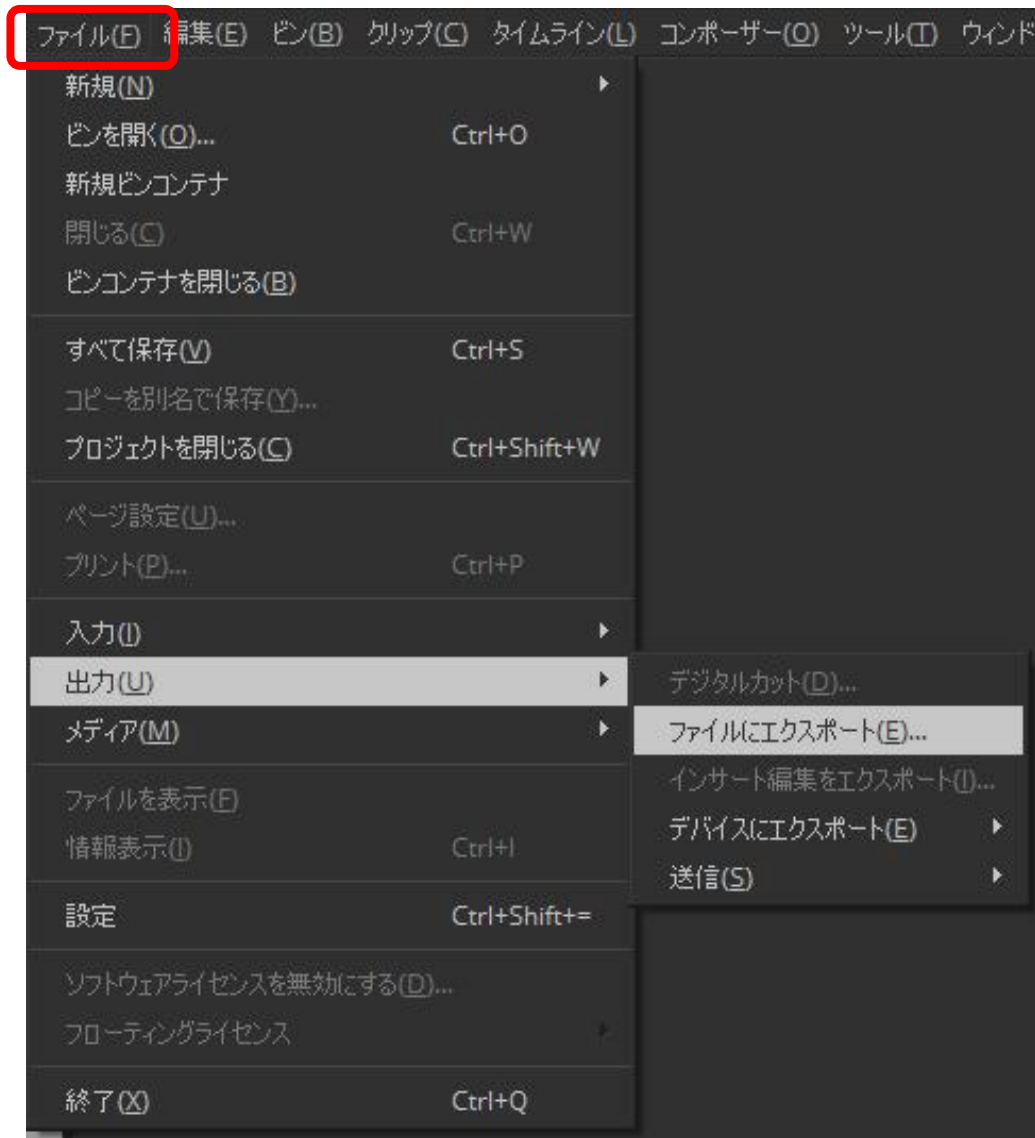


Matching Color Space

リテイク作業例：V2トラックを作成し、テロップを追加します。



3. ソース素材の**インポイントとアウトポイント**を選択します。
4. cineXplugins ではモニターされているビデレイヤー【ビデオトラック】にソースをインサートします。  
挿入するソースがV2レイヤーにある場合、V2レイヤーが選択されていることを確認してください。
5. 「ファイル」>「出力」>「ファイルにエクスポート」に移動します。

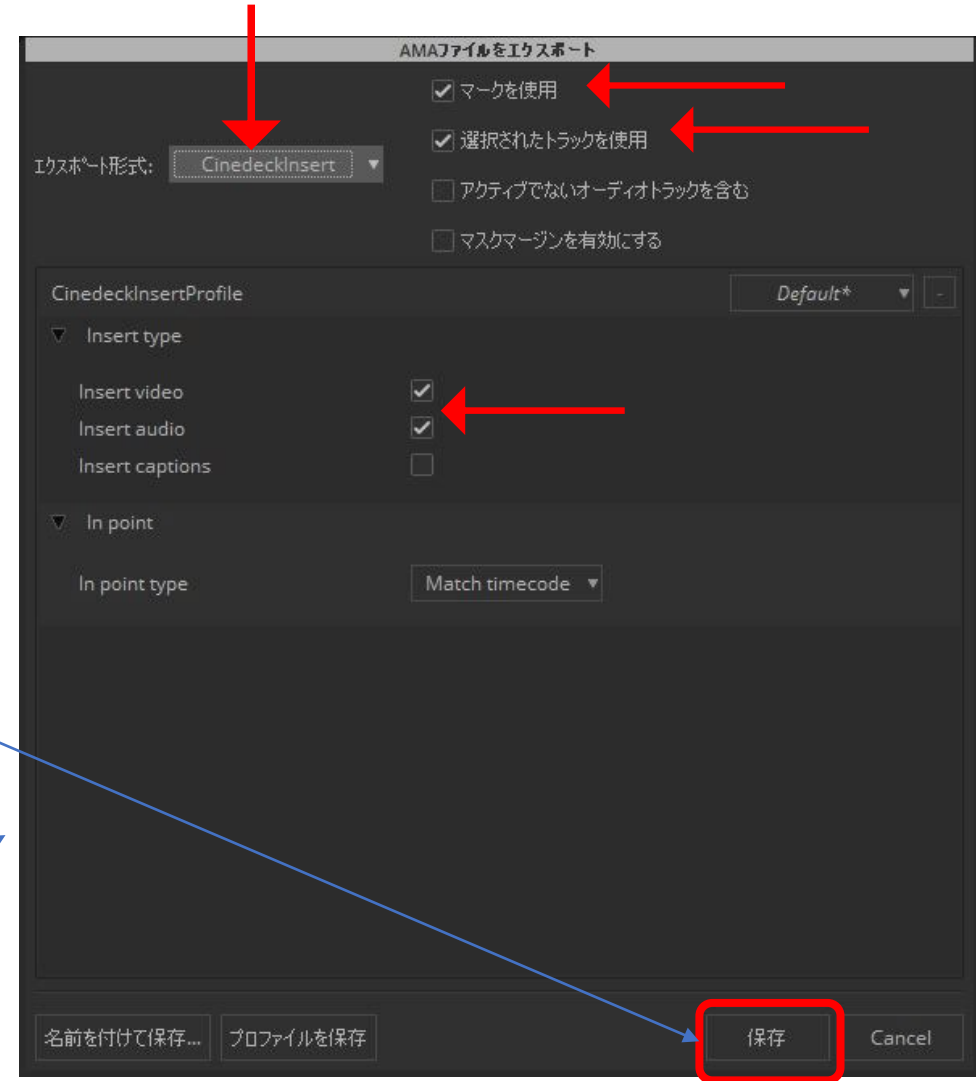
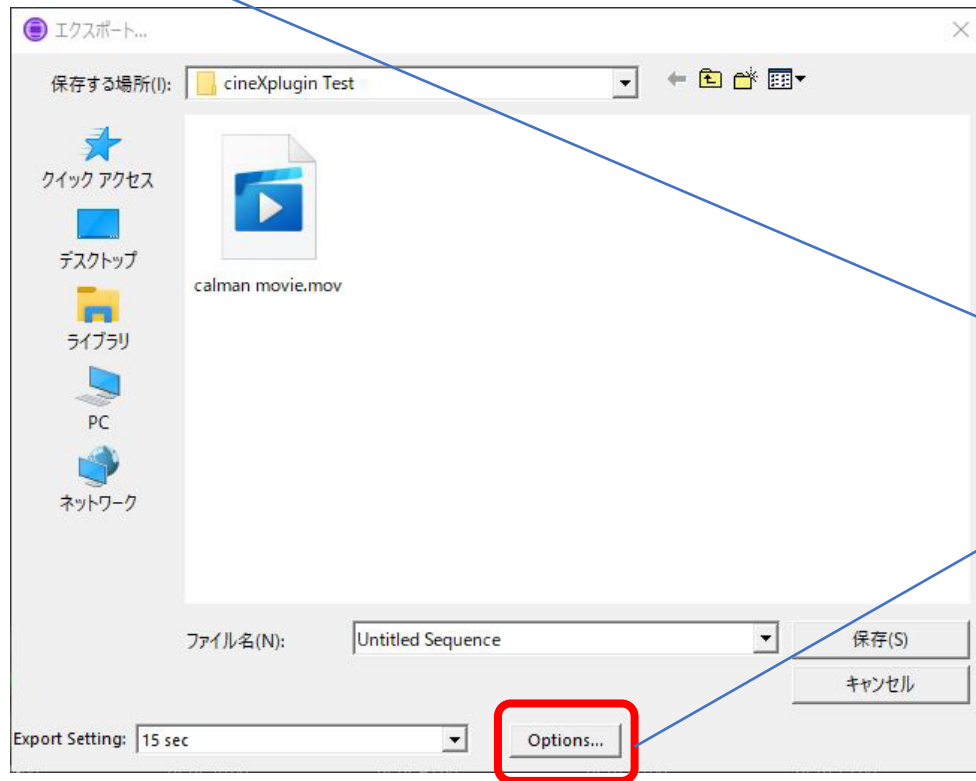


又は、レコードウィンドウを右クリック>エクスポート

6. エクスポートウィンドウがポップアップするので、**Options..** を選択します。  
AMAエクスポートウィンドウがポップアップするので以下の設定(確認)をします。

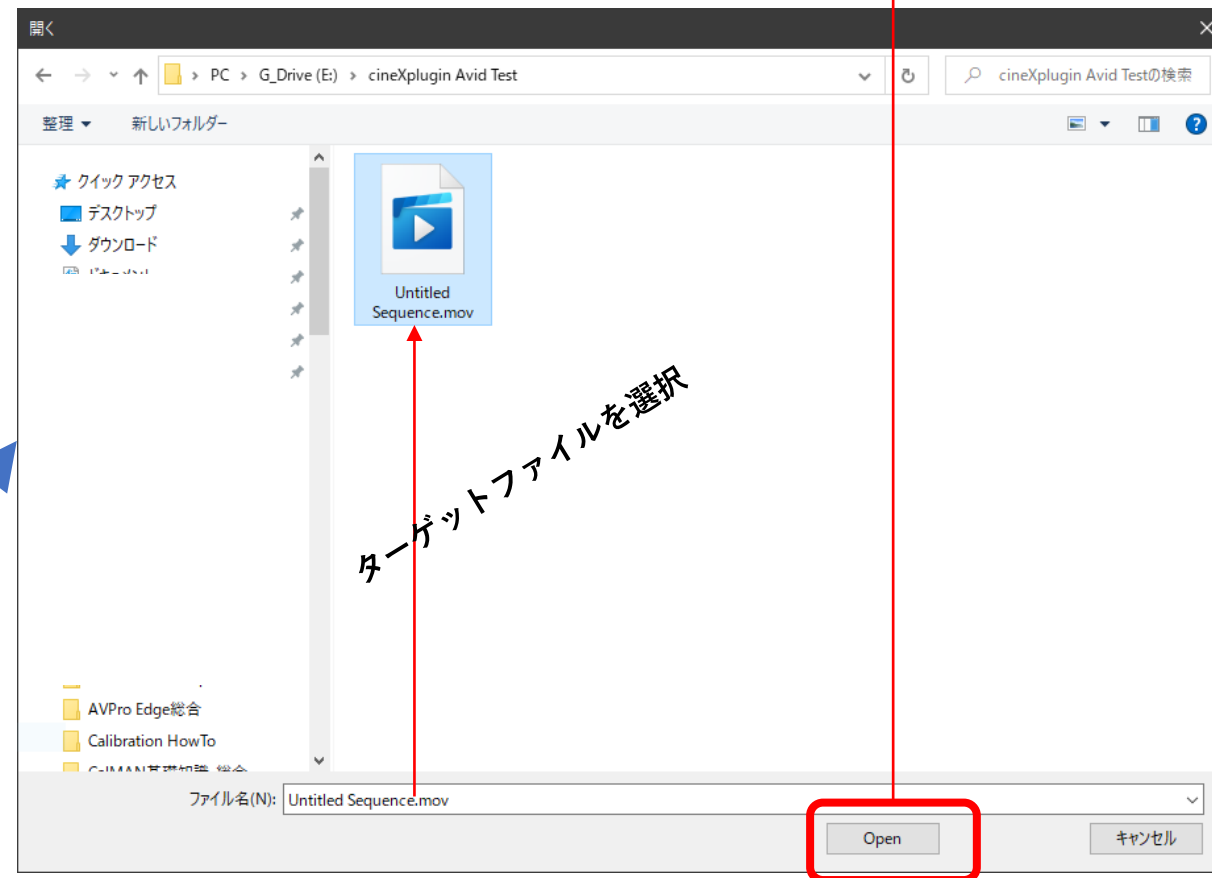
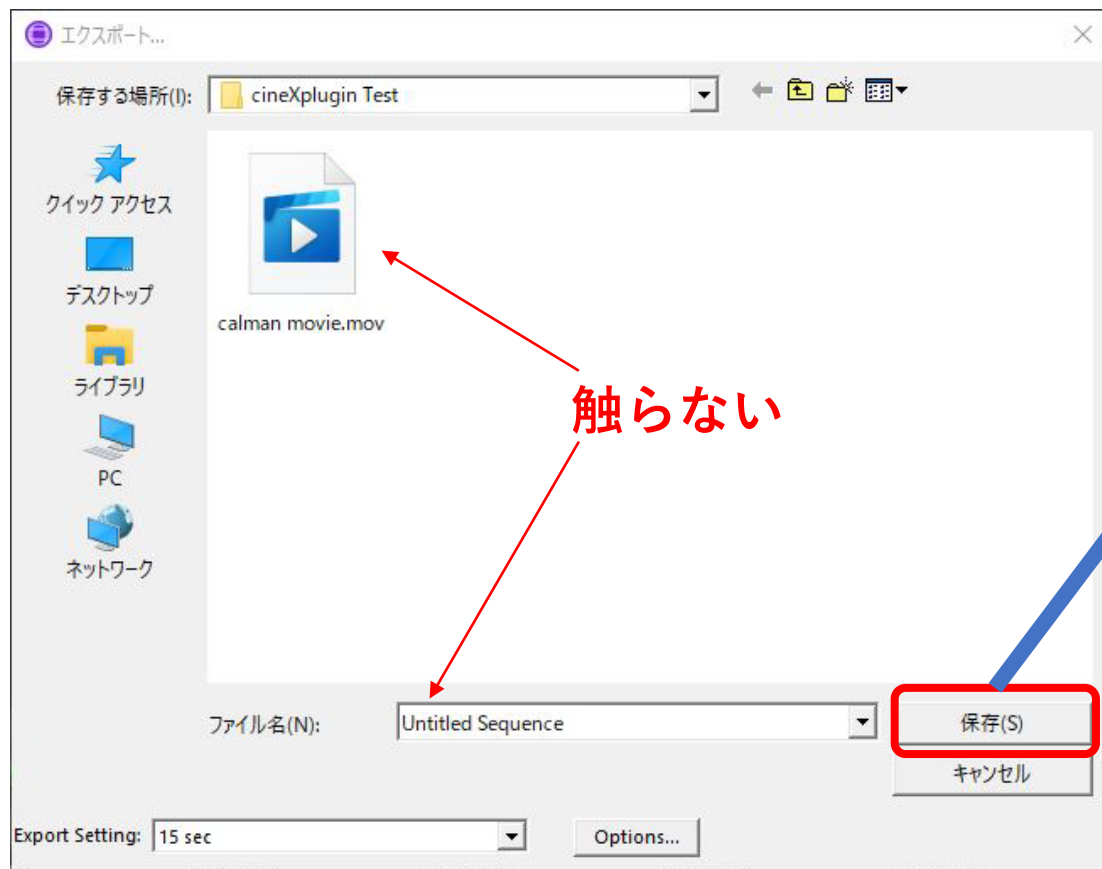
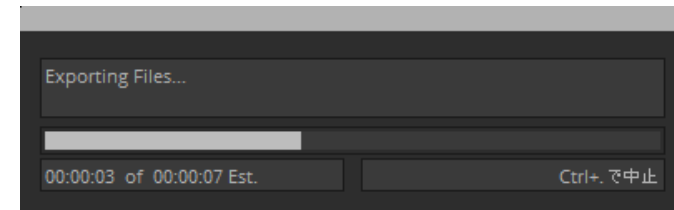
- ①エクスポート形式「**cinedeckInsert**」を選択
- ②マークを（イン/アウト点）を使用にチェック
- ③選択されたトラックを使用にチェック
- ④インサートタイプ（ビデオ、オーディオ）にチェック。

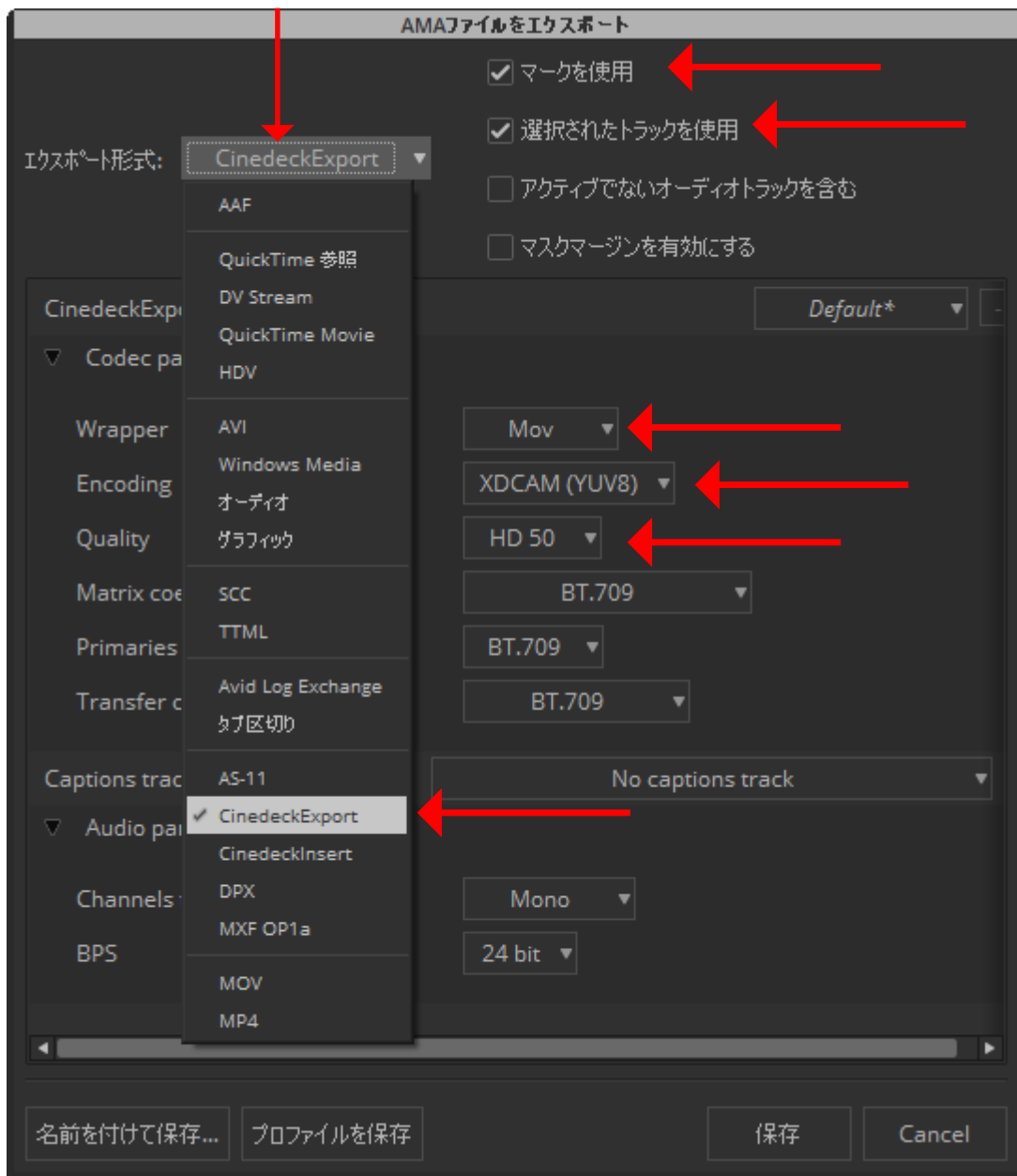
7. AMAファイルエクスポートウィンドウを**保存**して閉じる



8. AvidがAMAプラグインのために分かりにくくした部分があります。  
エクスポートウィンドウでは、**保存を押す以外は何もしないでください。**  
※シーケンス名を変更したり、特にここでターゲットファイルを選択しないでください。

保存ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログがポップアップします。  
ターゲットファイルを選択して、「Open」ボタンを押すとインサートが開始されます。





XDCAM.movをエクスポートする方法：

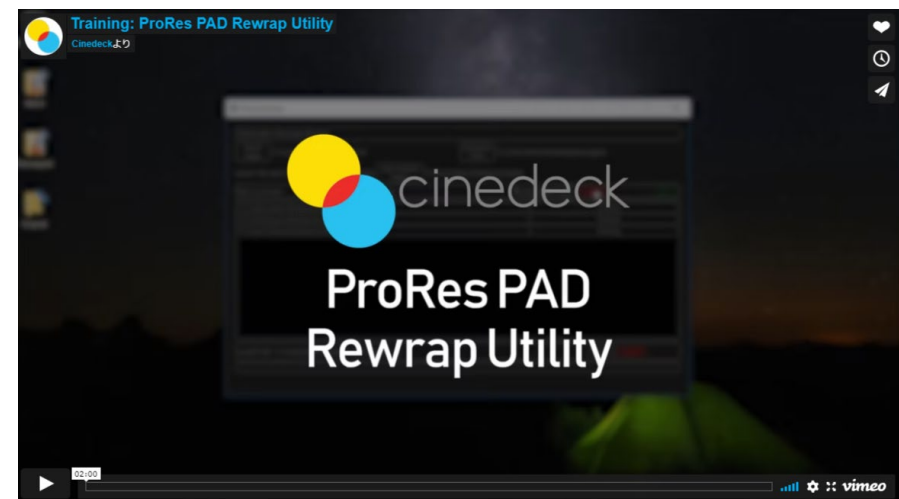
AMA Exportツールで以下の項目にチェックが入っていることを確認します。



ProResファイルの各フレームは異なる量のデータを使用して圧縮され、すべてのフレームのサイズがわずかに異なります。【=VBR】ProResファイルにインサートできるように、VBRを【CBR】にリラップする無料のツールが提供されています。  
リラップはパディングプロセスであり、**ビデオエッセンスには影響せず、ファイルコピーのように非常に高速です。**

リラップ無料ユーティリティのダウンロード

- [・ PC用](#)
- [・ Mac.dmgの場合](#)
- [・ Mac.pkgの場合](#)



<https://vimeo.com/305590456>